

公益目的事業1(定款第4条)

頁

1. 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供 (第1号)	(1) 図書資料の収集と提供	① 図書情報室の運営	8
	(2) 図書事業	① ブックフェア及び市立図書館等との連携 ② 男女共同参画パネル展と上映会	
	(3) 情報発信事業	① インターネットでの情報発信 ② 啓発誌・講座案内の発行	10
2. 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究 (第2号)	調査研究	① データブック作成(隔年)	12
3. 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援 (第3号)	(1) 啓発事業及び学習支援	① みんなで考える男女共同参画講座	13
		② 男性の家事・育児参画講座	15
		③ 女性の就業継続支援講座	17
		④ DV予防講座	19
		⑤ DV啓発事業	21
		⑥ ジェンダー論基礎講座	22
		⑦ オンラインイベント	
		⑧ 女性活躍セミナー	24
		⑨ 不安を抱える女性を対象とした就業支援事業	26
	(2) 企業・大学・地域との連携事業	① 性暴力被害者支援事業	28
		② 女子大学生と考える女性活躍	29
		③ LGBT等居場所づくり (コミュニティスペース及び個別相談会)	31
	(3) 教養・健康増進事業	運動実技講座 ① うた講座 その他教養講座	33
	(4) 保育事業	事業参加者の保育 ① 施設利用者の保育 ふれあい広場	34

公益目的事業2(定款第4条)

			頁
4. 男女共同参画に関する相談 (第4号)	(1) 相談業務	① 女性のための相談	35
		② 男性のための相談	
	(2) 相談事業	① DV被害当事者のための自立支援事業	36
		② トラウマケアのための読書会	37
		③ 大学相談室派遣事業	38
		④ 相談員研修	
		⑤ 不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業	39
	(3) 関係機関連携 苦情・要望等処理制度の受付	① 関係機関連携 苦情・要望等処理制度の受付	42

公益目的事業3(定款第4条)

			頁
5. 男女共同参画に関する市民の 活動の支援及び相互交流の促進 (第5号)	(1) 地域コミュニティ活性化の 促進事業	① センター利用者や地域との 協働事業	43
		② パープルリボンの取り組み他	44
	(2) 人材・団体育成事業	① 市民活動サポート事業	46
		② 防災カードを使ったワークショップ (防災リーダー育成事業)	47
		③ 共催・後援事業/講座受講生の グループ育成	49
	(3) 京都市男女共同参画センター の目的利用団体に対する 施設管理業務		50

収益事業

	頁
京都市男女共同参画センター の目的利用団体以外に対する 施設管理業務	52

財団運営

	頁
経営管理、組織・人事管理	53
財務運営	55

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供		条項	第1号	
事業名	(1)図書資料の収集と提供／(2)図書事業		総合窓口課		
講座名	(1)①図書情報室の運営 (2)①ブックフェア及び市立図書館等との連携 ②男女共同参画パネル展と上映会				
目的	男女共同参画を推進する拠点施設としての情報収集・発信				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	980	1,024	△ 44		

事業の計画

1. 実施内容
<p>(1)男女共同参画に関する情報・資料の収集 図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施</p> <p>(2)①ブックフェア及び市立図書館等との連携(パネル展) ②男女共同参画に関するパネル展と上映会の実施</p>
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書情報室の周知と他図書館との連携
3. 実績
<p>1. 男女共同参画ブックフェアの開催</p> <p>① 男女共同参画週間 『あなたらしい』を築く、『あたらしい』社会へ 6月2日(木)～6月30日(木)</p> <p>② 国際ガールズデー 「10月11日は国際ガールズデー」 10月4日(火)～10月28日(金)</p> <p>③ パープルリボン月間 「暴力にはNO!を言い続けよう」 10月29日(土)～11月29日(火)</p> <p>④ 国際女性デー 「国際女性デー2023」 2月21日(火)～3月24日(金)</p>

2.男女共同参画パネル展の開催

①男女共同参画週間 パネル展 6月16日(木)～6月30日(木)

②国際ガールズデー パネル展 京都わかくさねっと活動展「少女たちの小さな叫び」
10月1日(土)～10月11日(火) 共催 一般社団法人京都わかくさねっと

③国際女性デー パネル展 2月24日(金)～3月17日(金)

3. ミニブックフェアの開催

「2023年 妄想世界旅行 文学でめぐる世界の本」など 3回

4. 京都市立図書館へのブックリストとパネルデータの提供

以下の男女共同参画のテーマに関するブックリストと協会作成のパネルデータを、京都市立図書館に配布した。

- ① 男女共同参画週間 (9館)
- ② 国際ガールズデー (4館)
- ③ パープルリボン月間 (1館)
- ④ 国際女性デー2023 (11館)

5. 映画上映会

上映作品 「デザート・フラワー」

実施時期 10月7日(金)・8日(土) 4回上映 のべ39人

<別紙1>「2022年度 図書資料の収集と提供」(p.59)

4. 概要と成果

ブックフェアは、館内の図書情報室での展示にとどまらず、市立図書館にデータを提供することで、より多くの市民に向けた啓発の機会となった。

男女共同参画パネル展では、当協会で作成したパネルの展示とともに、「京都わかくさねっと活動展『少女たちの小さな叫び』」展を開催。居場所のない少女たちの現状と支援について広く周知する機会となった。また、同時に連動企画として、ブックフェア及び図書情報室所蔵DVDの上映会を実施。夜間の上映回を除いてほぼ満席となり好評だった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供		条項	第1号	
事業名	(3)情報発信事業		事業企画課		
講座名	①インターネットでの情報発信／②啓発誌・講座案内等の発行				
目的	ICT(情報通信技術)及びその他ツールを利用した情報発信により、男女共同参画の促進を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	2,342	2,071	271		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ① ・ ホームページの更新(随時) ・ メールマガジン「Wings Press」(月1回・号外)／ Facebook・Twitter(随時) ② ・ 啓発誌「男女共同参画通信」の発行 年2回 各17,000部 ・ 「note」を使ったジェンダーに関する発信(随時) ・ 講座案内「ウイングスきょうと」の発行 年6回 <li style="padding-left: 20px;">(6/7月号) 7,000部 <li style="padding-left: 20px;">(4/5, 10/11, 2/3月号) 7,500部 <li style="padding-left: 20px;">(8/9,12/1月号) 8,000部 ・ 「ジェンダーハンドブックNo.3」の発行に向けた企画調査
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ タイムリーな情報発信と社会の時流にのったテーマ設定
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ① ・ ホームページ 年間閲覧数 327,212回／ユーザー数 88,388人(うち新規87,000人) ・ メールマガジン「Wings Press」 登録者数 2,373人 ・ Facebook いいね数 653人／最大リーチ 3,019人 ・ Twitter フォロワー数 1,659人(125人増) <li style="padding-left: 20px;">1ツイートの最大インプレッション(表示回数) 36,537回 <li style="padding-left: 20px;">1カ月の最大インプレッション(表示回数) 458,174回 <li style="padding-left: 40px;">※プロモインプレッション含む ② ・ 『男女共同参画通信』: vol.54「発見! アンコンシャス・バイアス」(17,000部) <li style="padding-left: 20px;">vol.55「もう一度であう わたしのからだ」(17,000部)を発行した。 ・ 講座案内「ウイングスきょうと」は、偶数月の1日に発行した。 ・ note「gender eye」 2件記事を更新した。 ③ ミニパネル展「トランスジェンダーのリアル」(3月7日～3月31日)を実施した。

4. 概要と成果

①・ホームページは、アクセシビリティJIS X 8341-3:2016「AA」準拠を維持。閲覧数は昨年に比べて約1万3千ビュー増加した。ユーザーの年齢は35-44歳25.7%、25-34歳25.2%、18-24歳16.9%の順に多く、44歳未満の層が全体の7割を占める。また性別で見ると男性46.5%、女性53.5%となっており、WEB媒体では、若年層や男性にも情報を届けられている。

・メルマガ登録者は増加しているが、管理が煩雑となっており、新たな配信システムを検討したい。

・Facebookの最大リーチ数やTwitterの新規フォロワー数は順調に増加している。Twitterは、7~9月にかけて有料プロモーションを使用したためインプレッションが最大38倍増となった。

②・『男女共同参画通信』vol.54では重点目標である「アンコンシャス・バイアスの解消」に則った企画を組み、読者が自分ごとに行えるような紙面構成および親しみやすさを狙ったキャラクターの採用が好評であった。Vol.55では現在注目されている女性の健康やフェムテックについて取り上げ、時流に則ったタイムリーな話題提供ができた。

・講座案内「ウイングスきょうと」は、ウイングスで実施する講座・イベントや啓発誌発行の情報を掲載し、公共機関等に配布し当センターの事業を広く市民に周知できた。

・noteについて: 女性活躍に関するセミナー報告として、「【イベントレポート】京で輝く！女性活躍推進セミナー『今こそ、男性版産休を考える』」「【イベントレポート】女性活躍推進セミナー DEI推進！男性の育休取得を実現する『わが社のマイルール』を作ろう！」の2件を更新した。

③ミニパネル展「トランスジェンダーのリアル」を開催し、トランスジェンダーに関する正しい知識の啓発に向けた取り組みを実施できた。多くの来館者が目を向け、関心の高さがうかがえた。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の形成のための調査及び研究	条項	第2号		
事業名	調査研究	事業企画課			
講座名	データブック作成(隔年)				
目的	京都市の男女共同参画の現状を市民に情報提供することや、男女共同参画をテーマに調査分析を行うことで、男女共同参画を促進させる				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	360	373	△ 13		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・「京都市男女共同参画データブック」発行 2,500部 ・既存のものを改編し、手に取りやすく分かりやすいものにする。
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・京都市男女共同参画に関するアンケート調査報告書等の最新データの把握と冊子の効果的な活用
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・データを通して国や京都市の男女共同参画の“今”を知れるブックレットとしてリニューアルし、「男女共同参画“はじめての一步”BOOK 2022」(2500部)を発行した。
4. 概要と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・外部編集者のアドバイスを盛り込み、またデザイナーを起用しデザイン改訂を行ったことで、読みやすく親しみやすい紙面へと仕上げた。 ・単にデータを知るだけでなく、データを通して男女共同参画の課題を自分ごととして捉え、考えるための入口となる媒体へと発展させた。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	啓発事業及び学習支援			事業企画課	
講座名	①みんなで考える男女共同参画講座				
目的	男女共同参画についての基礎知識を学ぶ機会として、一般、企業、学校教職員、PTA等の団体を対象に、男女共同参画に関する基礎用語や事象の解説などを行う講座を実施するとともに、男女共同参画の課題解決に向けた学習支援を行う				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	100	24	76		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期開催 一般市民向け基礎講座(年4回 ウィングス京都にて実施) ・ 出前講座 企業・教職員・団体向け基礎講座(希望に応じてテーマ・会場を選定) ＜講座テーマ＞ <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画とは ・ 男女平等教育を考える ・ 子育て世代の男女共同参画 ・ DVを知る・考える ・ セクシュアル・ハラスメント ・ 働くあなたのワーク・ライフ・バランス ・ 防災と男女共同参画 ・ LGBTってなに？
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズに応じた講座内容の充実

3. 実績

年間32回の講座を実施し、929人の参加となった。また、講座とは別に26件の学習相談に応じた。

<別紙2-1>「令和4年度『みんなで考える男女共同参画講座』年間利用数」(p. 60)

<別紙2-2>「令和4年度『みんなで考える男女共同参画講座』実施一覧」(p. 61)

4. 概要と成果

今年度より、定期講座を「京都市男女共同参画・真のワーク・ライフ・バランス推進員」の研修の機会としても提供した。定期講座では、男女共同参画に関する基礎知識と各回ごとのテーマについて伝えているが、満足度、理解度とも8割以上になるなど研修として有意義であった。

出前講座の依頼では、「ジェンダーの理解」を目的とされる傾向にある。教育現場からの依頼では、従来の児童に伝える内容を求められる傾向から、教職員自身の意識変容と共通理解のためへと研修目的に変化がみられた。

また、オンライン開催や具体的な課題のある依頼が増加した。オンライン開催では、研修が形骸化しないよう、参加型の講座になるよう調整した。具体的な課題への対応としては、芸術・創作分野におけるセクハラについての社会的な動きがあり学習相談も増える中、文筆業に携わる編集者・ライターを対象にオンラインで講演し、業界での継続した勉強会の立ち上げに貢献することができた。今後も新たなニーズへの対応を積極的に行い、より効果的な学びにむけて検討を重ねたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	啓発事業及び学習支援			事業企画課	
講座名	②男性の家事・育児参画講座				
目的	男性が育休を戸惑うことなく取得し、ワーク・ライフ・バランスを維持するための支援				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	252	105	147		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ プレパパを対象に、出産準備や育児について学ぶ中で、男性の家事・育児への参画の意義、パートナーとの円滑なコミュニケーション等について考えるセミナーを実施(全3回)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の家事・育児への参画を、一時的なものではなく日常的なものにするための意識づけ

3. 実績

プレパパ育児講座 楽しく暮らすパパスイッチを入れよう
回数(3) 定員(40) 応募数(43) 参加者数(38)
のべ参加者数(83)※パートナー同伴可 定員充足率(95%)

①知りたい！男性の育休制度や育休中の生活

【日時】5月21日(土)13:00～15:00

【講師】高橋佳子 (特定社会保険労務士・産業カウンセラー・健康生きがいづくりアドバイザー)

【ゲスト】下村光輝 育児休業取得者・NPO法人ファザーリングジャパン関西メンバー

【内容】男性の育児休業・給付金・社会保険料の免除等や、2022年10月から新設される「出生時育児休業(産後パパ育休)」の解説と、育児休業取得者の体験談。

②赤ちゃんと暮らすことで、生活はどう変わる？ 赤ちゃんのケアや遊び方

【日時】6月4日(土)13:00～15:00

【講師】講師 阿川勇太 (大阪総合保育大学講師・保健師・看護師・保育士・
NPO法人ファザーリングジャパン関西副理事長)

【内容】赤ちゃんの発達段階やケアの方法、けがの対応・看護、産前産後の体調とメンタルの変化についての解説と、遊び方体験。

③困っていることは何？ 赤ちゃんの寝かしつけ方、パートナーとのコミュニケーション

【日時】6月18日(土)13:00～15:00

【講師】講師 阿川勇太 (大阪総合保育大学講師・保健師・看護師・保育士・
NPO法人ファザーリングジャパン関西副理事長)

【内容】寝かしつける方法等の講義と、夫婦の価値観の違いや家事分担の満足度を知るワークや、家族プランを作成するワークショップ。

4. 概要と成果

男性の育児休業における金銭面や職場の対応への不安に対し、社会保険労務士から制度や給付金について、育児休業体験者から実際行った職場への働きかけについて話してもらったことで、リアルに育休をイメージすることができた。また、受講生同士や男女別のワークを通して、不安や悩みを共有するとともに、普段お互いに言えない気持ちや聞けない質問を交換し合えたことが好評だった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	啓発事業及び学習支援			事業企画課	
講座名	③女性の就業継続支援講座				
目的	育児と仕事が両立できる就業継続支援を行う				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	270	83	187		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休中の女性を対象に、安心して職場復帰し、主体的にキャリア構築できる講座を実施(全3回)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・就業継続のための意識付けとパートナーをはじめ職場関係者との円滑なコミュニケーションについて主体的に考えるための働きかけ ・受講生同士の情報交換と交流の場づくりへの働きかけ

3. 実績

先輩ママが教える今から始める育休復帰講座
回数(3) 定員(15) 応募数(11) 参加者数(11) のべ参加者数(27)
定員充足率(73%)

【講師】畠中直美 (一般社団法人チャレンジドLIFE代表・キャリアコンサルタント)

①産休・育休中の不安解消のヒント

【日時】9月8日(木)14:00~16:00

【内容】現在と数年後のワークとライフを比較して、自分の未来がどのように変化していくのかをイメージし、これからの行動目標を作るワークショップ。

②先輩ママと、自分の人生キャリアを描こう！

【日時】9月15日(木)14:00~16:00

【内容】アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)に気づくワークショップ及び自分の未来を計画する『私の地図』の作成。

③先輩ママとみんなで話す交流会

【日時】9月29日(木)14:00~16:00

【ゲスト】三谷祐子 (株式会社SCREENホールディングス人事室勤務)

【内容】講師とゲストがファシリテーターになり、受講生同士が自由に話す交流会。気持ちをリフレッシュして、復職に向けモチベーションをあげた。

4. 概要と成果

少人数グループでのワークをとおして、自分の意見に同意を得たり、お互いの思いを共有できたことが満足度の高さにつながった。家事のアウトソーシングについて考えた際、「家事をしない罪悪感」が自身のアンコンシャス・バイアスだと気づいたり、『私の地図』のワークで、人生を豊かにするために「自分自身が求めている未来」を明確にすることの大切さを知ることができ、受講生が自身と向き合い、復職後の生活を具体的に考える機会になった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	啓発事業及び学習支援			事業企画課	
講座名	④DV予防講座				
目的	DVや性暴力根絶のために、若年層に向けた予防教育をはじめ、関係機関の職員等に向け、DV予防について啓発を行う				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	255	134	121		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関や高校・大学等と連携しDVやデートDVの予防講座を実施する
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> 啓発先の拡充、対象となる機関との連携

3. 実績

- ①DV当事者に必要な支援と関係機関との連携について
回数(1) 参加者数(15)
【日時】4月22日(金)10:00~12:00
【講師】平尾一乃(京都市DV相談支援センター)
【対象】社会福祉法人 福朗ヴェインテ
母子支援員・児童指導員・デイ職員・ショート職員
- ②DVと子どもへの影響 ~必要な支援と関係機関との連携について~
回数(1) 参加者数(33)
【日時】1月30日(月)18:00~19:30
【講師】平尾一乃(京都市DV相談支援センター)
【対象】京都桂病院 医師・看護師・関係者他
- ③お互いの心と体を大切にしよう ~デートDVについての学び~
回数(1) 参加者数(66)
【日時】2月2日(木)14:20~15:10
【講師】伊田広行(非暴カールーム大阪NOVO・立命館大学非常勤講師)
【対象】中京中学校 2年生・教員
- ④対等な関係を作ろう ~デートDVを防止するために~
回数(1) 参加者数(200)
【日時】2月28日(火)13:20~14:10
【講師】三野敬子・近藤凜太郎(ウィメンズネットこうべ)
【対象】御池中学校 2年生・教員

4. 概要と成果

①②とも京都市DV相談支援センターの職員が講師となり①は母子生活支援に関わる方に電話相談の対応や面会交流、外国籍の夫の対応など、講師の経験からの確かな助言やつなげるべき機関と留意点等具体的な情報を、②は医療従事者に被害者の早期発見や二次被害の予防のほか京都市DV相談支援センターの支援業務や病院との連携について十分伝えることができた。

③④は中学生と教員を対象に実施した。コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomによるオンラインセミナーになった。③はDVの正しい理解や二次被害の予防を中心に伝え、④は事前アンケートで認知度等を確認した上で、講座を構成し、生徒全員が「デートDVの状態」と「対等な関係の状態」のロールプレイを行った。いずれも、生徒に必要な情報を効果的に伝えることができた。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	啓発事業及び学習支援		事業企画課		
講座名	⑤DV啓発事業				
目的	DVや性暴力根絶のために、市民に向け広く啓発を行う				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	665	683	18		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> DVや性暴力根絶に向けた広報物を作成し、市民に向け啓発する
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> 市民が関心を向ける媒体での広がりのある啓発
3. 実績
<p>DV防止を目的に、女性に対する暴力をなくす運動(11月12日(土)~25日(金))に合わせ、パープル月間(11月)として「パートナーとの関係は対等ですか?」と書かれた広告で啓発した。</p> <p>①リビング京都 広告掲載 10月29日号 京都市全域(中央・東南・西南エリア)489,310部</p> <p>②京都市地下鉄の車内吊ポスター 270部 横枠広告 烏丸線140部 東西線130部 掲載期間 11月1日~30日 1ヵ月間</p>
4. 概要と成果
<p>広告・ポスターには、「『殴る』『蹴る』などの身体的な暴力だけがDVではありません」という言葉も記載し、目には見えにくいDVがあることも啓発した。また、「京都市DV相談支援センター」と「男性のためのDV電話相談」の連絡先も記載し、相談につなげられるようにした。</p> <p>さらに、リビング京都の広告では、「あなたがいつも我慢していませんか?チェックリスト」も掲載し、自分でDVIに気づく機会を提供した。また、ウイングス京都で行うパープル月間の催しの告知記事もあわせて掲載し、京都市域に広く周知できたことは催しの集客の点でも意味があった。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	啓発事業及び学習支援			事業企画課	
講座名	⑥ジェンダー論基礎講座／⑦オンラインイベント				
目的	日常に潜む違和感についてフェミニズムの視点で考える				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	210	175	35		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ⑥・テーマに沿った専門家による有料連続講座(全3回) <ul style="list-style-type: none"> ・専門家の講義部分のみ、後日有料配信 ⑦ジェンダーに関するテーマに沿った単発オンラインイベント(1～2回)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った専門家の発掘 ・若年層を取り込むための工夫

3. 実績

⑥テーマ:今こそ、家族とジェンダーを考える

回数(4) 会場 定員(25) 応募者数(20) 参加者数(20) のべ参加者数(54)

定員充足率(80%)

オンライン 応募者数(29) ※講義部分を後日配信

各日とも 14:00～16:30

1. 9月24日(土)「家族」をジェンダーでとらえるための基礎知識

【講師】元橋利恵(大阪大学大学院人間科学研究科招へい研究員)

2. 10月22日(土)「母親」であることの困難をめぐって～ケアとフェミニズム～

【講師】元橋利恵(大阪大学大学院人間科学研究科招へい研究員)

3. 11月27日(日)「男らしさ」とケアをめぐって～イクメン・ケアメンの逆説～

【講師】平山亮(大阪公立大学 大学院 文学研究科 准教授)

4. 12月17日(土)カミングアウトをめぐる非異性愛者と家族の経験～家族とわたしの中の「ふつう」を問い直す～

【講師】元山琴菜(北陸先端科学技術大学院大学・講師)

⑦「共にあるための LGBTQ+勉強会」※オンラインのみ実施

回数(1) 定員(50) 応募者数(52) 参加者数(52)

【日時】7月23日(土)13:30～16:30

【講師】和田華子(俳優)

【内容】LGBTQ+に関する基礎から、日本の現状、アウティングの問題など、多様なセクシュアリティを持つ人が共にあるために必要な知識を学ぶ。

4. 概要と成果

⑥家族とジェンダーについて基礎から学び、家族の“これから”について考えた。各テーマとも講師からジェンダーに関する新たな視点も入れつつレクチャーしてもらえたことで満足度の高い講座となった。

⑦52人の申し込みがあり、多様な性についての関心の高さがうかがえた。内容についても網羅的で、満足度が高く、特に多様なセクシュアリティを持つ人同士が安全に過ごせる場づくりについて講師の実感をともなったレクチャーは具体的で好評だった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	⑧女性活躍推進セミナー				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・女性がデジタル分野において個性と能力を十分に発揮しながら、職業生活で活躍できるようにする。 ・女性活躍の阻害要因となっている男性中心の働き方の見直しを進め、男性の家事・育児への参画を促進する。 				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,300	1,300	0		

事業の計画

1. 実施内容
<p>「輝く女性応援会議」で策定した「京都女性活躍応援計画」に基づき、デジタル分野に関心のある女性、デジタル分野での就業を目指したい女性を対象とした講座とスキル獲得のセミナー及び管理職や人事担当者を対象とした「男性の家事育児参画」がテーマのセミナーを実施</p>
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進の目的に沿ったプログラム構成 ・対象に向けたセミナーの周知と集客
3. 実績
<p>①デジタル人材育成セミナー 働き方の幅を広げる 女性対象 デジタルスキル基礎講座 回数(6) 会場 定員(10) 参加者数(9) ・第1回オンライン 定員(なし) 参加者数(51) 【日時】11月1日(火)13:00~15:00 11月18日(金)~12月23日(金)13:00~17:00 第1回 「女性が働き続けるうえで今、求められるデジタル人材とは」 第2回 「魅せるスマホカメラ商品写真撮影術」 第3回 「魅力を届ける! 伝わる文章の書き方」 第4回 「ITに関する基礎知識、ネットショップづくりに挑戦!」 第5回 「各種クラウドサービスを活用したネットショップ作成」 第6回 「集客・広告・SNSマーケティングの基礎」 【講師】北野典子((株)メディアクリエイツ代表取締役) 柴田明蘭(写真家・(公社)日本写真家協会(JPS)理事) 山田涼子(フリーライター・国語講師) 【対象】・第1回オンライン どなたでも ・全6回会場参加 就労・転職・現在の仕事でのスキルアップを目指す女性 ローマ字入力可、エクセル・ワードの基本操作可、京都市在住・在勤・在学</p>

②男性の家事育児参画セミナー

「DEI推進！男性の育休取得を実現する『わが社のマイルール』を作ろう！」

回数(2) 定員(30) 応募者数(第1回:53 第2回:16) 参加者数(第1回:53 第2回:12)

【日時】

第1回:基礎編「“男性の育休”推進に必要なDEIの考え方とは？」

1月20日(金)14:00～16:00 ※オンライン

第2回:実践編「“男性の育休”を促進する！わが社のマイルールを作ろう」

1月27日(金)14:00～16:30 ※現地開催

【講師】

田中宏明(デロイトトーマツコンサルティング合同会社 執行役員 関西ユニットリーダー)

巽真理子(大阪公立大学 ダイバーシティ研究環境研究所 特任准教授)

木原千絵(京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社 管理本部人事部長 兼 経営企画室 ダイバーシティ推進部長)

【対象】第1回:テーマに関心がある方、企業の管理職や人事担当の方など

第2回:京都市内企業の管理職や人事担当の方など

4. 概要と成果

①デジタル人材育成セミナー

受講生はネットショップ制作という課題を通して、ITについての基礎知識の他、デジタル人材に求められる各種クラウドサービスの活用、宣伝、広報、マーケティングまで、仕事の一連の流れの基本的な知識や技術、新たな働き方の選択肢について具体的に理解できた。デジタル分野に苦手意識がある受講生にとっては、それを克服する機会となった。また、デジタルスキルに対する知識と、女性がキャリアを積み続けていく上での新たな可能性への理解が深まることにより、女性の就労促進への契機となった。

②男性の家事育児参画セミナー

全2回の講演とワークショップを通して、男性育休推進において基礎となる「DEI」の考え方について参加者が当事者意識を持って学び、推進へのヒントを得る機会となった。とりわけ第2回のワークショップでは、参加者それぞれが各社の課題を持ち寄り、それらの解決を“社外”の人と共に考える貴重な場となった。出来上がった新たな「マイルール」が今後各社内で共有され、就労環境改善へと具体的に活かされることが期待できる。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	⑨不安を抱える女性を対象とした就業支援事業				
目的	コロナ禍において、様々な困難や課題を抱える女性が自立生活を行い、就業できる意欲の向上及び既存の女性の就業支援につなぐ				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,300	2,025	△ 725		

事業の計画

1. 実施内容
孤独や孤立で不安や困難・課題等を抱える女性を対象に就業意欲を向上させる講座を実施
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・抱える不安を徐々に解消し就業意欲を向上させるプログラム構成 ・困難や課題等を抱える女性に向けた広報
3. 実績
<p>京都市「不安を抱える女性を対象とした就業支援事業」心としごとの準備セミナー</p> <p>【講師】本多真理子(キャリアコンサルタント・マナー講師) 植野和美(キャリアコンサルタント・公認心理師) 村井加代子(バレエ・ヨガ・英会話講師) ※講師はいずれのコースも共通</p> <p>①ひとり親コース 回数(5) 定員(15) のべ参加者数(21) 【対象】就業に興味があるひとり親の女性(京都市内在住、在学の方) 【日時・内容】 各日 10:00~12:00 10月14日(金)聴き方を習得してコミュニケーションを円滑に(コミュニケーション1) 10月20日(木)体と心を整えて健康に(セルフマネジメント) 10月27日(木)仕事に役立つ電話対応を学ぶ(就業スキル) 11月10日(木)上手に気持ちを伝えてコミュニケーションを円滑に(コミュニケーション2) 11月17日(木)自分自身に目を向けてみよう(マインドフルネス)</p>

②Z世代コース

回数(5) 定員(15) のべ参加者数(18)

【対象】就業に興味がある10歳代後半から20歳代の女性

【日時・内容】各日 13:30~15:30

10月14日(金)聴き方を習得してコミュニケーションを円滑に(コミュニケーション1)

10月20日(木)体と心を整えて健康に(セルフマネジメント)

10月27日(木)ビジネスマナーを学ぶ(就業スキル)

11月10日(木)上手に気持ちを伝えてコミュニケーションを円滑に(コミュニケーション2)

11月17日(木)自分自身に目を向けてみよう(マインドフルネス)

4. 概要と成果

ひとり親コースの受講生は、非常にモチベーションを高く持って取り組む姿勢がみられた。育児などでしばらく働くことから離れていたため、基本的な経験はあるが、自信がないという方がセミナーを受講することで自信をつけ、中には講座で紹介したマザーズジョブカフェやハローワークを通じて就職した方もいた。

Z世代コースの受講生は、コミュニケーションが上手くとれるようになりたい方が多かった。受講生同士で少しずつコミュニケーションをはかることで、苦手意識も薄れ、最終日には連れ立って会話をしながら帰るところまでになり、今回のセミナーがコミュニケーションや人間関係を築く一歩につながった。

いずれのコースも、受講生が回を重ねるごとに成長し、次につながる自信を持つことができた。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	企業・大学・地域との連携事業	事業企画課			
講座名	性暴力被害者支援事業				
目的	大学生を対象に「性暴力」について学ぶ機会を提供することで、彼らが被害者や加害者にならないための予防教育を実施する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	250	304	△ 54		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生を対象に性暴力サバイバー(被害を乗り越えた人)の声を届け、自ら第三者介入のできる人材を育てる。(1回)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学との連携と協力
3. 実績
<p>「性的同意 & 第三者介入ワークショップ」 回数(1) 定員(20) 応募者数(11) 参加者数(10) 定員充足率(50%) 【日時】1月21日(土)10:00~17:00 【講師】山本潤(SANE(性暴力被害者支援看護師)・一般社団法人Spring幹事) 【トレーナーパートナー】奥出智行(精神保健福祉士・公認心理師) 【サポーター】公益財団法人 京都市男女共同参画推進協会職員 3名 【対象】有志の女子大学生と教職員 【連携・協力依頼先】京都女子大学</p>
4. 概要と成果
<p>学生と大学が主体的に性暴力の防止に取り組めるようになることを目指し、「性的同意」と「第三者介入」について学び、自身の安全を確保しつつ、被害を未然に防ぐ方法を具体的に考えるワークショップを実施した。実践的に学ぶには6時間必要だったため、参加数が少人数になってしまったが、自らの行動を変えたい学生を集めることができた。アンケートでは身近な誰かが被害に遭った時に必要なスキルとしてどのように対応したらいいのかを学んだことがうかがえ、理解と行動の変容に効果がみられた。また、大学での継続した取り組みを支援するために、基本となる「性的同意ワークショップ」を当協会職員だけで実施できるよう、職員がトレーナートレーニングに参加し、今後のサポート体制も整えた。本事業について他の高校や大学の教職員から問合せがあり、関心のある教員も多いことから、学生をサポートする教職員への研修も今後実施していきたい。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	企業・大学・地域との連携事業		事業企画課		
講座名	女子大学生と考える女性活躍				
目的	大学と協働で事業を行うことで男女共同参画の加速化をめざす				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	355	343	12		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> 女子大学生を対象に、京都の中小企業との連携によるロールモデルトークや座談会の様子を記録した動画を使用したセミナーを実施。女性が働き続けることや自身のキャリアについて考える場を提供する。
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> 中小企業や大学との円滑な連携 「就職」に重点を置いたセミナーではなく、働き続けることに意味を見出す機会とする。
3. 実績
<p>①座談会動画作成 「私が私らしく生きるために選択してきたこと～キャリアとライフイベント～」 【動画時間】31分 【モデレーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 田邊朋子(株式会社アール・エム・アイ 代表取締役研究所長) <p>【ロールモデル】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山田遥加(合同会社ゲンバゴ 代表社員) 久保田若菜(株式会社HINATAE 代表取締役) 和田紘子(大原社会保険労務士法人 代表 社会保険労務士) <p>【トークテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人生のターニングポイント 働きやすさ 中小企業で働くこと 就職活動

②座談会動画視聴&ロールモデルとの交流会

【連携大学】のべ参加者数(165)

同志社女子大学

・1月12日(木) 2年生(41)、3年生(15)、4年生(1) 計(57)

光華女子大学 3限

・1月13日(金) 1年生(37)、2年生(1)、3年生(13)、4年生(1) 計(52)

光華女子大学 4限

・1月13日(金) 1年生(5)、2年生(3)、4年生(3) 計(11)

光華女子大学短期大学部(動画の視聴のみ)

・1月16日(月) 1年生(32)、2年生(11)、3年生(1)、その他(高3)(1) 計(45)

4. 概要と成果

女子大学の授業で、座談会の動画視聴、ロールモデルと学生との交流会を実施した。コロナ禍で大学のオンライン機能が充実し、光華女子大学ではレスポンス機能を使って学生から質問を集めたが、多くの質問が学生から寄せられ有効であった。

受講した学生はそれぞれ学年も違ったが、動画と交流会を組み合わせることで、より「働く」ことをイメージでき、自分自身が現時点で就職や将来についてどう考えているのかを確認できる機会になり、動画視聴、交流会とも各大学で満足度は9割以上と好評だった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	企業・大学・地域との連携事業		事業企画課		
講座名	LGBT等居場所づくり(コミュニティスペース及び個別相談会)				
目的	LGBT等の当事者支援のための居場所づくり				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	300	201	99		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・京都市共生社会推進室(人権文化推進担当)、Tsunagaryオフィス合同会社と連携し、LGBT等の当事者が理解ある空間で集う場(京都まあふるスペース)を提供する(4回) また、併せて個別相談会を実施する
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・京都市共生社会推進室(人権文化推進担当)、Tsunagaryオフィス合同会社との円滑な連携
3. 実績
<p>LGBT等コミュニティスペース 京都まあふるスペース</p> <p>①パートナーシップ宣誓制度について 回数(1) 定員(20) 参加者数(12) 【日時】6月25日(土)14:00~16:00 【講師】井上ひとみ(特定非営利活動法人カラフルブランケッツ理事長) 【対象】LGBTQ等の当事者、又はそうかもしれない方、ご家族、支援者、関心のある方</p> <p>②自分の性について考えたい人・悩んでいる人へ 回数(1) 定員(20) 参加者数(4) 【日時】8月2日(火)15:00~17:00 【講師】本多まさ(プライドプロジェクト代表) 【対象】10代から23歳までのLGBTQ等の当事者(そうかもしれない方含む)</p>

③カミングアウトについて

回数(1) 定員(20) 参加者数(12)

【日時】10月15日(土)14:00~16:00

【講師】阪部 すみと(Tsunagary Cafe 代表)

【対象】LGBTQ等の当事者、又はそうかもしれない方、ご家族、支援者、関心のある方

④防災・災害時の困りごとについて

回数(1) 定員(20) 参加者数(1)

【日時】1月21日(土)14:00~16:00

【講師】井餘田みのり(特定非営利活動法人MixRainbow理事長)

【対象】LGBTQ等の当事者、又はそうかもしれない方、ご家族、支援者、関心のある方

4. 概要と成果

居場所やスタッフの様子をちらしなどで伝え、安心して集える居場所となるよう心がけた。自分の問題を初めて話したり、自身のカミングアウトの体験談を話し、家族へのカミングアウトの難しさを共有する等、当事者同士が落ち着いて深く話せる場を提供できた。

参加者が少ない回については、テーマが当事者に響いてないと思われるため、テーマについて熟考する必要がある。

いずれの回も定員を満たさなかったが、参加者の声を聞くと、まだまだ、LGBT等の当事者の居場所が少なく、当事者同士で話がしたくてもできない状況であるため、この居場所を引き続き実施していきたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	教養・健康増進事業	事業企画課			
講座名	運動実技講座・うた講座・その他教養講座				
目的	生涯にわたる健康と生きがいを維持できるよう市民ニーズに応えたさまざまなプログラムで、幅広い年代を対象とした講座を開催する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	6,920	7,164	△ 244		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動講座(8コース×3期=24コース) ・ うた講座(5コース×3期=15コース) ・ 朗読講座(1クラス×2期) ・ 声トレ講座(1クラス×2期)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 万全な感染防止対策を講じた安心・安全な場での実施による受講者の確保
3. 実績
<別紙3>「運動実技・歌講座・朗読講座・声トレ講座」(p. 63-66)
4. 概要と成果
<p>①運動実技講座 「ピラティス」「気功」「陰陽ヨガ」講座については安定して定員を確保できた。夜のヨガ2講座については春期は伸び悩んだものの、7月に実施した期間限定でのビジター体験「お試し体験Day」が好評で、秋期・冬期の集客に結びついた。「フラダンス」は12月の市民しんぶん単独掲載の記事が注目され、冬期から受講生が増加した。</p> <p>②うた講座 コロナ感染防止対策の緩和とともに定員を20名から30名に増やした。「ジャズ」「ゴスペル」「愛唱歌」「楽しいコーラス」は安定した定員を確保した。「大人のコーラス」は冬期から、より健康を重視した講座内容に改め「健やかうた講座」に名称を変更して実施した。</p> <p>③朗読講座 「小さな朗読発表会」ではほぼ満員の集客となり、受講生の満足度も高かった。リピーターを含め安定したクラス運営を維持できているため、新規参加者も確保していきたい。</p> <p>④声トレ講座 健康のための発声を肝にした講座はニーズが高く、参加者の満足度は高かった。しかし参加者の定着率が悪く、後期講座にて集客が振るわなかったため今年度で講座を終了することにした。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	保育事業	事業企画課			
講座名	事業参加者の保育・施設利用者の保育・ふれあい広場				
目的	講座保育・一時保育と親子同士がふれあう事業をNPOとの協働で行い、子育て中でも安心して学習や研修に参加、あるいは相談室利用ができる環境を提供する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,400	937	463		

事業の計画

1. 実施内容
<p>保育事業を保育グループマザーグースと協働で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業参加者の保育／施設利用者の保育 4ヵ月以上就学前までの子ども対象 ・ ふれあい広場 親子で参加するふれあい広場をマザーグースや他の子育て関連団体と連携し実施
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規メンバーの定着支援 ・ 保育需要の減少を鑑みた体制整備
3. 実績
<別紙4>「保育事業」(p.67)
4. 概要と成果
<p>換気やマスク着用等の感染症対策を実施しながら保育を行った。昨年度と比較して講座保育回数が10回増加したが、一時保育回数が減少し、全体保育は昨年度を9回下回った。保育した子どもの人数は昨年度の200人より26人減り、174人であった。</p> <p>【主催事業受講者の保育】(保育対象年齢:4ヵ月以上就学前) 京都市からの受託事業、および自主事業に対して保育を実施した。</p> <p>【施設利用者の保育】(保育対象年齢:4ヵ月以上就学前) 図書情報室・相談室など、京都市男女共同参画センター利用者に対し、保育を実施した。</p> <p>【ふれあい広場】 親子で気軽に参加できる催しを6回開催。 家庭とは異なる場所での子どもとのふれ合いを通して、親が抱える不安を軽減し、育児を楽しむきっかけ作りの場として実施した。ゆったり落ち着いた気持ちで参加し、育児の悩みなどを気軽に話せる雰囲気になるよう工夫した。</p> <p>【運営会議】 月1回保育担当者が、マザーグースと運営会議を行い、保育について情報共有し、安心・安全な保育が実施できるようにした。</p>

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談業務	事業企画課			
講座名	①女性のための相談／②男性のための相談				
目的	男女共同参画に関わる市民の多様な相談ニーズに対応し、相談者自身が悩みの背景を認識し、自己を肯定して問題解決を図っていけるようサポートする				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	13,629	14,654	△ 1,025		

事業の計画

1. 実施内容

- ・ 女性のための相談
(電話・面接・女性への暴力相談・法律相談)
- ・ 男性のための相談
(面接・DV電話相談)

2. 事業実施における課題

- ・ 公共機関としての相談運営体制の再構築
- ・ 男女共同参画の視点を持った相談員の育成

3. 実績

種類		2022年度	2021年度	前年比
女性のための 相談	電話	671	662	101%
	面接	821	596	138%
	法律	42	37	114%
	女性の暴力	129	62	208%
男性のための 相談	面接	107	66	162%
	男性DV電話	21	20	105%
合計		1,791	1,443	124%

4. 概要と成果

2022年度の相談件数は1,791件を受理し、前年比124%となった。平時の年間相談件数(約2,000件)と比較しても9割ほど回復してきている。

相談室の運営体制の再構築では、運営指針に則りながらルールの見直しやデータベース管理の改良を行った。相談員の人材育成では毎月のグループスーパービジョンや、内閣府主催のオンライン研修等に全員が参加し、男女共同参画の視点を養った。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	①DV被害当事者のための自立支援事業				
目的	DV被害者が、専門家の助言を得ながら、当事者同士で語り合い、互いに受容しあうことを通して、人が本来持つべき自尊感情を取り戻すことにより、心身の回復を促す				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	318	122	196		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義とアドバイザーを交えたグループでの語り合い(全5回) ・ 必要に応じてアフター会を実施(3回程度)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 潜在的な対象者へのアプローチと参加者確保 ・ 関連機関との連携
3. 実績
<p>DV被害者自立支援講座「わたしが私でいるために」 回数(3) 定員(15) 参加者数(7) のべ参加者数(21) 定員充足率(47%) 【日時】6月4日(土)・18日(土)・7月2日(土) 全3回 10:00~12:00 【講師】竹之下雅代(ウィメンズカウンセリング京都) 【対象】DV被害を受けた経験がある女性で加害者と別居中の方 【内容】①わたしの身に起きたこと~DVを理解する ②わたしは大切な存在~自己尊重を学ぶ ③わたしは「私」~私の力を取り戻す</p> <p>アフター会 回数(3) のべ参加者数(9) 【日時】8月20日(土)・9月17日(土)・10月15日(土) 【講師】竹之下雅代(ウィメンズカウンセリング京都)</p>
4. 概要と成果
<p>DV被害者が専門家の助言と立ち合いのもと、当事者同士の語り合いを通し、暴力によって失われてきた自尊感情を取り戻し、心身の回復を目指す連続講座を実施した。今年度は対象者がより参加しやすいように連続講座の回数を5回から3回に減らし、曜日も土曜日の午前に設定したところ、例年より申込者が増加した。3回にしたことで参加者は無理なく全日程をクリアすることができ、それぞれの自信につながったようである。参加者は回復状況も異なるが、お互いの状況を分かち合うことで自身に起きていることを整理し、エンパワメントにもつながったようであった。</p> <p>講座終了後のアフター会には、のべ9名が参加し、講座で話し足りなかったこと、現在の様子などを共有した。</p>

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	②トラウマケアのための読書会				
目的	性暴力の被害によりトラウマを抱えている人を対象に、読書会を通し自尊感情を取り戻し心身の回復を促す				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	300	250	50		

事業の計画

1. 実施内容
・ トラウマケアのための読書会の実施(11回)
2. 事業実施における課題
・ 参加者にとって安心・安全な場の提供 ・ 関連機関との連携
3. 実績
回数(11) 定員(15) のべ応募者数(209) のべ参加者数(153) 定員充足率(93%) 【日時】※非公開 4月12日、5月10日、6月14日、7月12日、8月9日(語り合い)、9月13日、10月11日、11月8日、12月13日(語り合い) 2月14日、3月14日 火曜日 10:00~12:00 【対象】DV等女性に対する暴力の被害を経験した女性 【講師】竹之下雅代(ウィメンズカウンセリング京都) 【内容】読書を通じて、トラウマの影響や自分を大切にセルフ・ケア等を学ぶ 『赤ずきんとオオカミのトラウマ・ケア』白川 美也子/著 アスク・ヒューマン・ケア/発行 ほか
4. 概要と成果
DVや性暴力の被害によりトラウマを抱えている女性を対象に、専門家の立会いのもと、読書を通じて心身の回復を図るとともに、中長期支援の観点から1年を通じてDV被害者が支援にアクセスでき安心して集える「居場所」を提供し、当事者のゆるやかなつながり作りに取り組んだ。 開催にあたっては安心・安全を確保することが最も重要なため、広報はDV相談機関(区役所相談担当を含む)経由とし、日時・場所等は参加者のみに伝えた。申し込みの際の状態の見極めや適切な支援につなぐ必要性の判断は、相談室との連携で対応した。参加者それぞれの回復状態が異なっており、互いの経験を聴きすぎると不安になる場合があるため、「本の内容」について話すことを前提とすることにより、安心・安全な場を維持できた。また、他の講座に比べ、当日の遅刻や欠席が多くなりがちではあるが、強制せずゆるやかにすすめることで「自分のペースで参加しても、次もまたこの場に受け入れてもらえる」と認識され、継続参加につながった。最終回には、状態が良くなったと伝えてくださる方もあり、回復の過程を支える場として今後も継続していきたい。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	③大学相談室派遣事業／④相談員研修				
目的	③大学内の相談室に相談員を派遣し、相談者の問題解決を支援する ④相談員のスキルアップを図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,250	971	279		

事業の計画

1. 実施内容
<p>③佛教大学の委託を受け、学生や教職員対象のハラスメント相談室に相談員1名を派遣する(週1回)</p> <p>④相談員を対象にグループスーパービジョンや研修を実施する</p>
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなハラスメント事例に対応できる職員の体制づくり ・男女共同参画の視点での問題解決の落とし込み
3. 実績
<p>③佛教大学においてハラスメント相談室に来所する学生・教職員の相談に対応するため、2名の相談員を派遣した。(木・金曜日 各月3回 12:30～16:30)</p> <p>④・スーパーバイザーを招きグループスーパービジョンを実施した。(年10回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談連絡会議を実施した。(年1回) ・内閣府主催「性暴力、配偶者暴力等被害者支援のためのオンライン研修」7名受講(全10プログラム) ・内閣府主催「女性関連施設相談員・相談事業担当者研修」7名受講(全10プログラム)
4. 概要と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・佛教大学ハラスメント相談室において、学生や教職員の相談に対応した。これまで相談員を1名派遣していたが、今年度から枠数も増加したため2名で対応した。また、学内相談員向けの研修についてのアドバイス等も行った。 ・相談員のグループスーパービジョンでは、スーパーバイザーからのアドバイスをもとに事例検討を行った。男性相談、女性への暴力相談担当者カウンセラーとともに連絡会議を実施し、それぞれの課題や問題点を共有した。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	⑤不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業				
目的	コロナ禍で、孤独・孤立で不安や困難・課題等を抱える女性に寄り添い、社会とのつながりを回復する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	8,200	8,239	△ 39		

事業の計画

1. 実施内容
不安を抱える女性に寄り添った相談事業、またその一環として、居場所づくり事業を事業を実施する。
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・対象に届くための効果的な広報 ・対象に適した情報提供や居場所の提供
3. 実績
<p>京都市「不安を抱える女性に寄り添った相談事業」受託事業</p> <p>(1) つながる相談室の実施 【実施期間】4月1日(金)～3月31日(金) 受理件数 233件</p> <p>(2) つながるスペース 居場所づくり事業 5回</p> <p>①ひとり親女性のための居場所 【対象】20歳未満の子どもを育てるひとり親女性(予定も含む)、京都市内在住・在勤・在学 第1回 ひとり親女性のためのリフレッシュ! コットン手芸教室 定員(20) 応募者数(14) 参加者数(12) 【日時】10月16日(日) 13:30～16:00 【講師】山田由紀子(布おもちゃ布絵本作家) 【内容】布・フェルトのフォトスタンドの作成及び交流会、京都市ファミリーサポートセンターの紹介、食品の無料提供(フードバンク京都)</p>

第2回 出張mama*cafe ひとり親女性のためのマネーセミナー

定員(20) 応募者数(31) 参加者数(19)

【日時】11月5日(土) 14:00~16:00

【講師】秋口千佳(夢のかけはし株式会社代表取締役 NPO法人日本FP協会CFP®認定者・1級ファイナンシャル・プランニング技能士)

【内容】教育費・老後資金等の貯め方や、仕事の多様化・支出の減らし方について解説及び交流会、食品の無料提供(フードバンク京都)

第3回 困っていることは何ですか？ ひとり親女性のためのお悩み相談会

定員(20) 応募者数(24) 参加者数(18)

【日時】12月11日(土) 13:00~15:30

【協力団体】

・一般社団法人 京都市ひとり親家庭福祉連合会(京都市ひとり親家庭支援センター ゆめあす)

・社会福祉法人 宏量福祉会 野菊荘こもれび

・京都市ファミリーサポートセンター

【内容】ひとり親を支援する団体の紹介や支援団体による個別相談及び交流会、食品の無料提供(フードバンク京都)

《ひとり親支援の関係団体の情報交換会》

【日時】12月11日(土) 15:30~17:00 参加者数(8)

【参加団体】

・一般社団法人 京都市ひとり親家庭福祉連合会(京都市ひとり親家庭支援センター ゆめあす)

・社会福祉法人 宏量福祉会 野菊荘こもれび

・京都市ファミリーサポートセンター

【内容】ひとり親の支援ニーズの把握、団体同士の情報共有のシステム、支援が必要な方に情報を届ける方法

②若年女性のための居場所

【対象】10代後半~20代の女性、京都市内在住・在学・在勤

第4回「7colors,7wills. カラーメイクアップワークショップ」

定員(20) 応募者数(23) 参加者数(20)

【日時】12月18日(日)14:00~15:30

【モデレート】NaNatural(ナナチュラル)スタッフ

【サポート】

・一般社団法人京都わかくさねっと

・公益財団法人京都YWCA

【生理用品・生活用品の提供】NPO法人お客様がいらっしゃいました。

【内容】メイクを通して「自分を知る」グループディスカッション及び「自分らしく彩る」ためのカラーメイクアップワークショップ

第5回 展示「身近な若年女性のために~「安心」につながる京都の支援~」

【実施期間】3月16日(木)~3月26日(日)9:00~20:30 ※日・祝は17:00まで

【会場】京都市男女共同参画センター ウィングス京都 1Fギャラリー

【展示内容】

・団体紹介(京都市内をイラスト化した地図に、団体の支援拠点をマッピングして支援内容を紹介)

・情報コーナー(団体のパンフレットや配布物を提供)

・暴力等のリスクや相談先に関する情報提供・来場者参加型 メッセージボードの設置

【協力団体】

・ウィメンズカウンセリング京都・NPO法人sacula・NPO法人ハピネス・京都市中央青少年活動センター・京都YWCA自立援助ホーム「カルーナ」(APT含む)・京都わかくさネット・特定非営利活動法人京都マック・非営利団体Reframe・母子生活支援施設野菊荘(タノシメン・学習会・ワライバ)・公益社団法人京都府助産師会・東山ファミリーホーム

《支援者を対象とした勉強会および情報交換会》

・若年女性支援の関係団体の勉強会+情報交換会(9団体参加)

「女性×アディクションの視点で考える これからの居場所&ともにある支援」

【日時】3月9日(木)14:00~16:00

【内容】・トーク「若年女性に寄り添う支援と場づくり」

【講師】大嶋栄子(特定非営利活動法人リカバリー)

・参加団体による情報交換会

4. 概要と成果

(1) つながる相談室

相談受理件数はのべ233件で、月平均19件を受理した。2021年度の月平均との比較では1.4倍ほどの増加率であった。(2021年度 月平均13件)相談の主訴では「孤独・孤立」や「気分の落ち込み」等こころの不調の訴えが全体の半数を占めた。相談者に寄り添い心理的なサポートと、適切な公的支援や機関につなげることができた。

(2) つながるスペース

① ひとり親女性のための居場所

第1回から第3回はひとり親女性を対象に居場所づくり事業を実施した。子どもと離れ自分だけの時間を手芸やセミナー、情報交換や相談に費やすことで、自分と向き合う時間を提供することができた。またいずれの回も、交流会を実施したが、同じ年代の子どもを持つ親同士になるようグループ分けをしたため、不安や悩みを共有しお互いアドバイスする姿が見られた。

② 若年女性のための居場所

第4回はSNS等で人気の高いコスメブランドと協働したことで、若年層の集客に繋がった。また、地域の女性支援団体と連携し居心地のよい場づくりにつながった他、“他人のため”でなく“自分のため”のメイクを通してエンパワーメントする機会を創出できた。第5回は、若年女性の支援に取り組む団体の支援拠点を京都市内の地図に可視化し展示した。支援拠点がより身近な存在として認識されるとともに、支援を必要とする人が安心して支援につながるための情報を提供できた。

(3) 支援者を対象とした勉強会および情報交換会

・ひとり親支援の関係団体の情報交換会

団体同士が会することでお互いの支援内容をより深く知ることができ、子どもの教育に関する情報が少ない等、共通の課題がある事も明らかになった。

・若年女性支援の関係団体の勉強会+情報交換会

「女性×アディクションの視点で考える これからの居場所&ともにある支援」

若年女性が陥りがちなアディクションの課題について、ジェンダーの視点から支援の方法を講師より学び、市内の団体による情報交換を兼ねた交流会を実施した。民間団体同士は「顔の見える関係」になっておらず、今回の情報交換会が、顔を合わせて率直な意見を交換できる貴重な機会となった。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	関係機関連携／苦情・要望等処理制度の受付		事業企画課		
講座名	関係機関連携／苦情・要望等処理制度の受付				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談に関わる機関との連携により、支援機関の相互交流と、支援員の資質向上を図る ・ 京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付を行う 				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	60	50	10		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性のための相談ネットワーク会議(年2回) ・ 配偶者からの暴力に関するネットワーク京都会議 ・ 京都犯罪被害者支援連絡協議会・性犯罪被害者対策研究分科会 ・ 京都市域におけるDV被害者支援団体交流会 ・ 京都ストーカー総合対策ネットワーク連絡会議 ・ 苦情・要望等処理制度の受付
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各機関同士の連携強化
3. 実績および 4. 概要と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健福祉局生活福祉部生活福祉課より、「住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金に係る配偶者やその他親族からの暴力を理由に避難している旨の申出」に関し、聞き取りと確認書の発行業務を受託した。受理件数 9件 ・ 関係機関の連絡会議等は、ほぼ対面で実施できた。昨年発足予定だった「京都市域におけるDV被害者支援団体交流会」が3月に実施できた。 ・ 苦情・要望等処理制度の受付 2件(制度の対象外として処理)

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業	総務課/事業企画課/総合窓口課			
講座名	センター利用者や地域との協働事業				
目的	地域団体等と連携し地元との関わりを深めるとともに、ウイングス京都とその役割への認知度向上を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	20	14	6		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市男女共同参画市民会議運営懇談会との連携 (みんなで考える男女共同参画講座への参加、情報発信) ・ 地元との連携強化(高倉小学校の活動紹介(KES活動)、夜間パトロールへの協力等) ・ センター利用者などによるロビーでの常設展示やイベントなどの開催
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・各団体との円滑な連携
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市男女共同参画市民会議運営懇談会との連携 令和4年度については、調整の結果、委員の過半数が集まる日程がなかったため、京都市男女共同参画市民会議の実施を見送った。 ・ 地元との連携強化 高倉小学校の活動紹介(KES活動) 日彰自治連合会の活動参加(防災訓練、夜間巡回パトロール等) ・ 常設展示やイベント ロビー常設展示・・・展示団体数のべ2団体
4. 概要と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元との連携 日彰自治連合会の防災訓練に参加し、災害時の避難所設営の対応等について、課題を共有する事ができた。引き続き情報共有し、連携を深めていきたい。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進		条項	第5号	
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業		事業企画課		
講座名	パープルリボンの取り組み他				
目的	「女性に対する暴力をなくす運動期間」(11/12~25)に合わせて、11月をパープルリボン月間と定め、イベントや展示をとおして市民が「女性に対する暴力の根絶」について考える機会を提供する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	91	214	△ 123		

事業の計画

1. 実施内容
「女性に対する暴力をなくす運動期間」(11/12~25)に合わせて、11月をパープルリボン月間と定め、イベントや展示をとおして市民が「女性に対する暴力の根絶」について考える機会を提供する。
2. 事業実施における課題
・連携する団体との関係を維持し、広く市民に訴えることができるイベントの開催
3. 実績
<p>「パープルリボン月間2022 Update ~変わる・変える 暴力とわたしたち~」 【期間】11月1日(火)~11月29日(火) 場所:1階ロビーほか</p> <p>・トーク「私たちはいかに性暴力を語れるか ~男性の性暴力被害から見えること~」 11月12日(土)14:00~16:00 講師:宮崎 浩一(立命館大学大学院/臨床心理士/公認心理師) 会場:定員(30) 応募者数(8) 参加者数(6)/オンライン:定員(なし) 参加者数(98)</p> <p>・「今、ストーカー被害・加害にいかに向き合うか ~意識のアップデートを目指して~」 -京都ストーカー相談支援センター5周年記念シンポジウム- (京都府警察本部・京都ストーカー総合対策ネットワーク会議との共催) 11月19日(土)13:30~16:30 定員(120) 参加者数(117)</p>

【講演】講師：内澤 旬子（文筆家・イラストレーター）

【パネルディスカッション】

パネリスト：猪野 憲一（桶川ストーカー事件被害者遺族）

内澤 旬子（文筆家・イラストレーター）

上谷 さくら（弁護士）

小早川 明子（NPOヒューマニティ理事長）

進行：西田 勝志（京都府警本部人身安全対策課長）

・京都市で暴力に反対する団体のパネル展示

・女性に対する暴力を考えるブックフェア

・京都市中央青少年活動センターコラボ企画「これって、性暴力なの…？」パネル展

4. 概要と成果

・今年度より「女性に対する暴力」だけでなく、男性やセクシュアルマイノリティを含む「あらゆるジェンダー・セクシュアリティに対する暴力の根絶」を掲げリニューアルした。それに則り実施した「男性の性暴力被害」について取り上げるトークでは、予想を超える申し込みがあり、「不可視化されやすい被害について丁寧に深めてもらえてよかった」「リニューアルの趣旨に共感した」など好評の声が多数あった。女性の暴力については重点を置きつつ、多様性に意識したい。

・「今、ストーカー被害・加害にいかに向き合うか ～意識のアップデートを目指して～」と題したシンポジウムでは、講演で被害者の立場から、被害がいかに生活を壊し、深い傷を残すのかが語られ、パネルディスカッションでSNS等で多様化する被害に警察、司法、教育の場で何ができるのか、大事な視点が話し合われた。「被害者の生の声を聞くことで被害の認識を深められた」「専門家から加害や被害の変化を聞き参考になった」など好評であった。

・館内展示についてもリニューアルし、イラストマップを用いて市内の支援団体を可視化する展示を制作し、新たな団体との連携・協働が広がった。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	市民活動サポート事業				
目的	男女共同参画社会の実現に向けた取組や企画をもつNPOやグループに対し、 助成を行い、地域における男女共同参画の推進を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	338	182	156		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の推進に関わる活動をしているNPOやグループなどの実践的な研究や活動に対して助成し、男女共同参画の実現を目指す多様な取組をサポートする
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> 市内のNPOやグループの発掘と対象者への効果的な広報 サポート団体の企画実施に向けた適切な支援
3. 実績
<p>応募のあった5団体のうち、2団体に助成を行った。</p> <p>①特定非営利活動法人 お客様がいらっしゃいました。 96,000円(うち45,504円戻入)</p> <p>②カラフル 131,000円(うち4,750円戻入)</p>
4. 概要と成果
<p>①「知ろう～みんな生理の当事者～」</p> <p>1回目「生理って何だ？あなたの学びが職場を変える」 11月13日(日)10:15～11:30 対象:働く男性 参加者数:6</p> <p>2回目「生理とお互いについて知ろう～言いづらい生理について話すきっかけに～」 2月16日～3月31日(動画配信) 対象:生理当事者を含むカップル 視聴回数:111</p> <p>【内容】 1回目は働く男性、2回目はカップルを対象に、生理を知るための講座を実施した。対象を男性やカップルに限定したこと等により集客が上手くいかなかった。 1回目の講座の様子が新聞に掲載され、団体の活動や実施内容を知ってもらう機会となったが、2回目の集客につながらず、YouTubeでの動画配信に変更した。 企画の狙いは良かったが、大学生が主要メンバーである団体ということを鑑み、広報、集客に関してもっとサポートする必要がある。</p> <p>②「京都プライド撮影会 写真展」 12月3日(土)～12月18日(日)9:00～21:00 ※日曜は17:00まで 2F展示スペース・1階ギャラリー ※1階は京都市人権月間パネル展とのコラボレーション展示</p> <p>【内容】 LGBTQ+当事者、またアライの方々の写真を53点展示。想いや未来にむけたメッセージとともに写った写真は、たくさんの人に力を与える内容であった。メッセージボードには、展示を見た人から意見や感想、応援の言葉が多数寄せられ、団体の今後の活動につながる機会になった。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	防災カードを使ったワークショップ(防災リーダー育成事業)				
目的	地域の防災訓練の場で活用できる防災教材を作成する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	310	513	△ 203		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都府下の地域を対象とした、「防災カード」を使ったワークショップの実施
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 府市の円滑な連携による運営 ・ 地域での防災カードの普及促進
3. 実績
<p>①回数(1) 参加者数(18)</p> <p>②回数(1) 定員(30) 応募者数(35) 参加者数(27) 定員充足率(90%)</p> <p>①きょうと男女共同参画センター防災事業 職員向けワークショップ 【日時】10月21日(金)14:00~16:00(会場:京都テルサ) 【講師】池田恵子(静岡大学教育学部教授・静岡大学防災総合センター兼任教員・減災と男女共同参画研修推進センター共同代表) ワークショップ:久保智里(公益財団法人京都市男女共同参画推進協会職員)</p> <p>②体験ワークショップ『きょうとみんなの防災カード』 【日時】2月4日(土)13:30~15:30(会場:ウイングス京都) 【講師】池田恵子(静岡大学教育学部教授・静岡大学防災総合センター兼任教員・減災と男女共同参画研修推進センター共同代表) 【主催】京都府男女共同参画センター らら京都/京都市男女共同参画センター ウイングス京都 【共催】福知山市男女共同参画センター/舞鶴市男女共同参画センター フレアス舞鶴/綾部市男女共同参画センター/宇治市男女共同参画支援センター/城陽市男女共同参画支援センター ぱれっとJOYO/向日市女性活躍センター あすもあ/長岡京市男女共同参画センター “いこ～る”プラス/八幡市女性ルーム/京田辺市女性交流支援ルーム ポケット/京丹後市女性センター/木津川市女性センター</p>

4. 概要と成果

災害時に発生するさまざまな困りごとへの対応や備えを「きょうとみんなの防災カード」を使って具体的に考えるワークショップを京都府男女共同参画センターとの連携による事業として実施した。

一般向けの体験ワークショップでは、防災に関心を寄せる20～60歳代の市民の他、他府県の職員も研修として参加される等、全国から注目を集める事業となった。参加者がより自分事に引き寄せて取り組めるよう、ワークショップのプログラムの見直しを行ったところ、より活発な意見交換が生まれ、地域の課題解決に向けたアイデアを引き出し共有することができた。満足度96.3%（うち5評価74%）・理解度96.3%とともに高く、参加者の意欲を高めることができた。

このようなワークショップやホームページ・SNSでの案内を通じて、防災カードに関心を持った多くの方に購入していただいたため、防災カードを増刷した。

また、2021年度に実施した「きょうと男女共同参画センター防災事業『男女共同参画の防災教材づくり』ワークショップ」が全国女性会館協議会第16回事業企画大賞の奨励賞を受賞し、より全国に知っていただくきっかけとなった。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	共催・後援事業／講座受講生のグループ育成				
目的	男女共同参画推進に関わる事業等を実施する機関やNPOと協働し、会場提供や広報協力を通じて事業の推進を支援する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	88	0	88		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画社会の実現に向けた企画について共催・後援を行う ・ 講座から発生したグループの支援を行う
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働団体との連携 ・ グループの自立化を目指したサポート体制
3. 実績
共催事業 1件 後援事業 0件
4. 概要と成果
<p>共催事業については、ウイングス京都を会場として開催することが条件となっているが、コロナ禍で、イベントやセミナーを会場で開催する機会が減っており、共催事業の申請は1件だけだった。</p> <p>今回、共催したピンクリボン京都も、2020年度、2021年度はピンクリボンセミナーをオンラインで開催していたが、2022年度にやっと対面で開催することができた。</p> <p>新型コロナウイルスに関する制限も緩和され、徐々にイベントやセミナーの会場での開催が増えてきているため、積極的に共催を呼びかけたい。</p> <p>〈別紙5〉「2022年度 共催・後援事業」(P.68)</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進			条項	第5号
事業名	京都市男女共同参画センターの目的利用団体に対する施設管理業務			総務課・総合窓口課	
目的	京都市の指定管理者として、京都市男女共同参画センターの施設管理業務を円滑に行い、男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気あるセンターを目指す				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	32,205	35,322	△ 3,117		

事業の計画

1. 実施内容

- (1) 施設の維持管理
 - ・京都市男女共同参画センターの施設・設備の維持管理
 - ・WiFi環境の保守管理業務
 - ・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策
- (2) 男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体を育成、支援するために、目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行う
- (3) KES環境マネジメントにおける環境改善(目標)
 - ・コンタクト空ケース回収
 - ・紙の使用(A4用紙) 基準年(前年度)比100%以下
 - ・環境保全 近隣の高倉小学校と連携し環境保全に努める
同校の保全活動を紹介し、施設利用者への啓発を行う
- (4) サービス向上
 - ・利用者の利便性に配慮した支払い方法の検討
 - ・より使いやすい施設利用の検討及び実施
 - ・利用者アンケートによるニーズの把握、改善
- (5) 危機管理・消防訓練・防災計画
 - ・救命救急講習の実施と、防災マニュアルの適宜見直し
 - ・避難所・妊産婦等福祉避難所開設の準備(訓練への参加・備蓄品の保管等)

2. 事業実施における課題

- ・新たな目的利用団体の開拓
- ・利用者の利便性に配慮した支払い方法の確立

3. 実績

- (1) 京都市男女共同参画センターの施設・設備の維持管理のための保守点検・修繕を行った。また、大規模な修繕については、京都市へ報告、修繕の依頼を行った。
- (2) 男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体を育成、支援するために、目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行った。
＜目的利用登録団体数＞ 49 団体（前年度:55団体）
＜目的利用事業数＞ 4 件（前年度:0件）
- (3) KES環境マネジメントにおける環境改善（目標）
確認審査合格
- (4) サービス向上
 - ・ 利用者アンケートによるニーズの把握、改善
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施を見送った。
一般利用団体登録更新手続きを行うとともに、新規登録の拡大に向けた案内を配布した。
- (5) 危機管理・消防訓練・防災計画
 - ・ 救命救急講習の実施と、防災マニュアルの適宜見直し
全職員を対象に、救命救急講習の実施
「きょうとみんなの防災カード」を使用した研修の実施
 - ・ 避難所・妊産婦等福祉避難所開設の準備（訓練への参加・備蓄品の保管等）
日彰学区防災訓練への参加（11月6日）
全職員を対象に、妊産婦福祉避難所事前指定施設向け机上訓練を実施
（3月18日周知）

4. 概要と成果

- (1) 防水工事等、約450万円の修繕費を計上した。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、新たな目的利用団体を探すことが難しくなった。また、会員の高齢化等により今年度も解散する団体があり、目的利用登録団体数が減少した。
- (3) コンタクト空ケース回収 目標達成率 103.1%
紙の使用(A4用紙) 基準年(前年度)比 98.2%
高倉学校の保全活動をロビーで紹介し、施設利用者への啓発を行った。
（2023年1月末締）
- (4) 一般利用団体のうち、利用条件が変わらないなど一定の条件を満たした団体に対して、窓口での手続きがさらに簡略化できるよう、「一般利用団体登録証」の書式を改定した。そのうえで、3月末で登録更新時期を迎える70団体の更新を行い、併せて登録要件を満たす新規の57団体に対し登録の案内を配布し、利便性の向上につなげた。
- (5) 地元の日彰自治防災会の訓練等に参加し、協力体制を整えた。

収益		(単位:千円)			
定款	収益事業				
事業名	京都市男女共同参画センターの目的利用 団体以外に対する施設管理業務	総務課・総合窓口課			
目的	京都市の指定管理者として、京都市男女共同参画センターの施設管理業務を円滑に行い、男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気あるセンターを目指す				
	予算額	執行額	増減	会計	収益事業
事業費	55,373	60,143	△ 4,770		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> (1) 施設の維持管理(再掲) (2) 目的利用以外の団体に対し、施設の貸出しを行う (3) KES環境マネジメントにおける環境改善(目標)(再掲) (4) サービス向上(再掲) (5) センターの認知度向上 SNSを使った広報の充実(Facebook・Twitter等の活用) (6) 危機管理・消防訓練・防災計画(再掲)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ ギャラリースペースの認知度向上と利用拡大に向けたサービスの拡大 ・ 若年層利用者の開拓に向けたSNSを活用した情報提供
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> (1) 施設の維持管理(再掲) (2) 施設利用率(日数利用率) 79.1% (前年度 73.0%) 貸館利用料 55,560,390 円 (前年度 46,147,975 円) 入館者数 325,812人 (前年度 222,035人) <別紙6-1>「2022年度 京都市男女共同参画センター利用状況」(p.69) <別紙6-2>「2022年度 京都市男女共同参画センター利用状況(時間帯別)」(p.70) (3) KES環境マネジメントにおける環境改善(目標)(再掲) (4) サービス向上(再掲) (5) 事業や施設に関する情報をSNSで発信し、主に若年層の認知度向上に努めた。 (6) 危機管理・消防訓練・防災計画(再掲)
4. 概要と成果
<p>利用率は前年度より6.1%増、貸館使用料収入は前年度より940万円以上の増収となった。新型コロナウイルスの影響は続いているが、持ち直しつつある。</p> <p>ギャラリースペースの稼働率は、コロナ前の2019年度59.5%に対し、2020年度22.4%、2021年度28.1%、2022年度37.3%と、こちらも徐々に回復しつつある。新規の利用や問い合わせも増えており、今後期待したい。</p>

法人	(単位:千円)				
定款	財団運営				
事業名	経営管理、組織・人事管理		総務課・総合窓口課・事業企画課		
目的	評議員会、理事会の決定に基づいた運営を行い、柔軟な組織体制と安定した経営基盤の強化を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	法人会計
事業費	6,890	7,515	△ 625		

事業の計画

1. 実施内容

- (1) 評議員会・理事会の開催・運営
 - ・ 評議員会 年1回 6月
 - ・ 理事会 年2回 5・3月
 - ・ 業務執行理事会 年2回 5・3月
 各会議は上記以外に臨時に開催する場合もある
- (2) 組織 別紙1
- (3) 指定管理に関する業務
 - ・ 次期指定管理への応募・選定
 - ・ 情報公開
 - ・ 個人情報保護の取り扱い
- (4) 人事・労務・研修
 - ・ 新しい人事体制での着実な事業の実施
 - ・ 職員研修の実施
 - ・ 人事評価制度の適正な実施
 - ・ 適正な労務管理
- (5) 公益法人に関する業務
 - ・ 事業計画、事業報告の提出

2. 事業実施における課題

- ・ 次期指定管理選定に向けた取り組み
- ・ 長期的な運営を見据えた組織体制の検証

3. 実績

- (1) 評議員会・理事会の開催・運営
 - ・ 評議員会 6月16日(木)
 - ・ 理事会 第1回 5月30日(月)、第2回 3月23日(木)
 - ・ 業務執行理事会 5月16日(月)、3月7日(火)
- (2) 組織 <別紙7>「組織体制」(p.71)
- (3) 指定管理に関する業務
 - ・ 次期指定管理(2023~2026年度)を受託
 - ・ 情報公開 2件
 - ・ 個人情報保護の取り扱い 問題なく運用
- (4) 人事・労務・研修
 - ・ 人事評価 2021年度後期 2022年5月実施
2022年度前期 2022年11月実施
 - ・ 研修
<別紙8>「2022年度研修一覧」(p.72)
- (5) 公益法人に関する業務
 - ・ 2021年度事業報告 2022年6月30日提出
 - ・ 2022年度事業計画 2022年3月31日提出

4. 概要と成果

2023年度からの指定管理者に選定された。
2019年度に採用した嘱託職員2名が2022年4月から正規職員として入職、2021年度に採用した臨時職員1名が嘱託職員採用試験を受験し、2023年4月から嘱託職員として入職することとなった。

法人	(単位:千円)				
定款	財団運営				
事業名	財務運営		総務課・総合窓口課・事業企画課		
目的	収益の安定と収支相償				
	予算額	執行額	増減	会計	法人会計
事業費	-	-	-		

事業の計画

1. 実施内容

収益の安定

- ・ 貸会場の稼働率を上げ、収益の安定をはかる
- ・ オンラインを活用した自主事業の実施により、定員増や遠方からの受講生の獲得を目指す
- ・ 発行物の販売等、新しい収益確保の検討・実施
- ・ 京都市、他都市や企業・大学からの事業の受託
- ・ 補助金・助成金等の積極的活用
- ・ 寄付金の増収のための広報、営業

2. 事業実施における課題

- ・ コロナ対策や施設老朽化への対応を見据えた指定管理料見直しの提言
- ・ 稼働率向上のための取組み
- ・ 事業収益の拡大
- ・ 寄付金の増収
- ・ 収支の均衡

3. 実績

- ・ 施設利用
日数利用率 79.1%(2021年度 73.0%)
施設利用料収益 55,560,390円(2021年度 46,147,975円)
- ・ オンラインを活用した自主事業の実施により、定員増や遠方からの受講生の獲得を目指す
ジェンダー論基礎講座
LGBTQ+勉強会
- ・ 発行物の販売等、新しい収益確保の検討・実施
ジェンダーハンドブック
きょうとみんなの防災カード
- ・ 京都市、他都市や企業・大学からの事業の受託
不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業
不安を抱える女性を対象とした就業支援事業
女性活躍推進セミナー
佛教大学ハラスメント相談業務
- ・ 補助金・助成金等の積極的活用
京都市総合支援補助金
京都市物価高騰支援金
学校休業支援補助金
IT導入補助金
電気利用効率化促進対策事業
キャリアアップ助成金

4. 概要と成果

施設利用料、自主事業収益が大幅に回復し、また京都市からの指定管理以外の事業の受託や、補助金、助成金等の積極的な獲得により、前年度と比較して大幅な増収となった。